



新大阪ロータリークラブ

創立 昭和 60 年 5 月 8 日

<http://www.shin-osakarc.jp>

- 事務局 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-5-15 新大阪フシントンホテルプラザ
TEL:06-6305-1010/FAX:06-6301-2525/E-mail: shin-osaka.rc@m6.dion.ne.jp
- 例会 毎週水曜日12時30分 新大阪フシントンホテルプラザ(TEL:06-6303-8111)
- 会長/中川 建司 幹事/村角 末義 会報委員長/稲田 正伸 会報編集委員長/生尾 雅美

四つのテスト

言行はこれに照らしてから I 真実かどうか II みんなに公平か III 好意と友情を深めるか IV みんなのためになるかどうか

No. 1284

Date 2012.6.27

*** 四つのテスト ***

言行はこれに照らしてから

1. 『真実』かどうか
2. みんなに『公平』か
3. 『好意』と『友情』を深めるか
4. みんなの『ため』になるかどうか

*** ロータリーの綱領 ***

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること。
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善の平和を推進すること。

<本日のプログラム>

第 1284 回例会 / 2012 年 6 月 27 日

本日の挨拶

「アンニョンハシムニカ 안녕하세요
(韓国語)

標語

「Reach Within to Embrace Humanity」
「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

ロータリーソング「それでこそロータリー」

どこであっても やあとのおうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おう
それでこそ ローローロータリー

卓話

「一年を振り返って」
中川会長・村角幹事



第 1283 回例会報告 (6 月 20 日)

- 司会進行 SAA 久富会員
- ロータリー・ソング SAA 松本(正)会員
- 来賓紹介 SAA 松本(正)会員
伊丹 RC 富田 茂 様
会友 宮崎 信夫 様

■ 出席者報告 SAA 久富 会員

第 1283 回例会 2012 年 6 月 20 日	
会員数 35 名	出席率 77.14%
出席数 23 名	欠席数 8 名
出席免除会員欠席数 4 名	
第 1282 回例会 (6/13)	
メイクアップ 6 名 修正出席率 85.71%	
6/2 大石会員	6/05 花原会員
6/2 山根会員	6/09 北野会員
6/2 湯浅会員	6/12 吉田会員

■会長の時間

会長 中川 建司
2012.6.20



最近読んだ本の中から紹介させていただきます。「生物学的文明論」というタイトルの本です。

ほ乳類の心拍数を調べると、サイズの大きい動物ほど一拍の時間が長くなるそうです。

これをアロメトリー式（動植物の個体サイズが変わることにより、代謝率や身体の部分の長さや大きさが変化するかを比較するスケーリングの法則性）で表すと、体重の四分の一乗に比例することがわかります。動物は成獣に達する時間も体重の四分の一乗にだいたい比例します。つまり、大きいものほど寿命が長く、小さいものは短命です。

動物の時間はこのように体重によって異なっていますが、一方別の見方をすると同じものにも見えてきます。動物の心臓の動きを時計（心臓時計）としてみると、ゾウもネズミも一生に心臓がうつ回数は、十五億回だそうです。

人間の心臓が十五億回打つのはだいたい四十一歳くらいになります。室町時代では、寿命は三十歳前半、江戸時代で四十歳代、昭和二十二年になってもまだ五十歳、今は七十歳・八十歳となりました。

寿命が延びた原因は二つあります。1960年代までの寿命の延びは、子供や青年が死ななくなったことによります。結核をはじめ、感染症で死ななくなったことが大きな原因です。1970年代以降の延びは老人が死ななくなったことによるものです。医療の進歩が大きく影響しています。

一方、我々が働くというのは、生物学的に言えば「利己的な遺伝子」がさせるものと筆者は説明しています。うまい物を食べ精力をつけ、格好をつけてよい子を産みそうな相手を惚れさせ、いい家に住んで安全に子を育てながら良い学校へいかせて自分の子孫の繁栄を図る。これらは利己的遺伝子の欲求だそうです。煩惱そのものですね。つまり、遺伝子の指令を受けて我々はせっせとお金を稼がされているわけです。

計算上の人生は40年です。今の平均寿命は80年。いわゆる「一身にして二生を経る」という福沢諭吉の言葉がありますが、昔から考えると二回分の人生を送ることが出来るわけですから、少なくとも定年後は利己的な遺伝子から解放され、本来の人間らしいゆったりとして時間を送り、できれば次世代の人たちの役に立つことをしていきませんかと締めくくっています。

■東日本大震災義援金報告 6月20日 3,000円



ポール・ハリス・フェロー BOX

飯原会員、遠藤会員

本日の合計	2,000 円
今年度累計	181,000 円



山 ボ ッ ク ス

飯原会員、遠藤会員

本日の合計	2,000 円
今年度累計	189,000 円



ニコニコ箱 報告

■SAA

吉田 会員

伊丹 RC 富田 茂 様

いつもお世話になります。

遠藤会員 前回欠席のお詫び。

松川会員 中川会長、村角幹事一年間ご苦勞様でした。

松本(圭)会員 中川会長、村角幹事、ありがとうございました。

横山会員 前回欠席のお詫び。

吉田会員 妻の誕生日に美味しい野菜をありがとうございました。

■幹事報告

幹事 村角 末義

1. 去年11月に行われました2660地区2011年度地区大会の記録誌を本日メールボックスへ配布しております。
2. 辻本会友所属の JOCS より会報誌が届きました。3ページと4ページに辻本会友が写っています。回覧します。

■次年度会員増強小委員会よりお知らせ

会員増強小委員会 松川委員長

第1回会員増強委員会を行うことになりましたので、次年度会員増強小委員会委員の皆様、ご多忙中とは存じますが、ご出席をよろしくお願い申し上げます。

日時: 2012年7月4日(水) 18:30~

場所: 弁護士法人淀屋橋・山上合同にて

会費: 2,000円(弁当・飲み物をご用意します。)

詳細は、本日委員の皆様にご案内を配布します。

卓 話

「TPP (環太平洋戦略的経済連携協定)に思う」
 鏝方 貞了会員



〔1〕TPP とは何か

1、TPP は多国間の経済連携協定

アジア、オセアニア、北米、中南米などの太平洋をとりまく国々を対象に、参加国間のヒト・モノ・カネ・サービスの流れをさらに活性化させることを目的とする多国間の経済連携協定。

現在は9か国で参加交渉が進められており、日本も2011年11月のAPEC 首脳会議で交渉参加を表明。

9か国:米国、ペルー、チリ、ニュージーランド、オーストラリア、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、ベトナム

2、TPP の目標

参加国間の関税および非関税障壁を原則として撤廃すること

関税とは、工業製品や農産物などを輸入する際に輸入国が自国産業を保護するために課税するもの

非関税障壁とは、関税と同じように、自国産業保護のために各国ごとに設けられた貿易手続きや各種の輸入規制などの様々なルールや仕組みのこと。

TPPはこれらの関税や非課税障壁を原則として撤廃することで、国境を越えてヒト・モノ・カネ・サービスが自由に行き来できるようにすることを目標にしている。

〔2〕TPP が掲げる「自由貿易」とは

自由貿易の考えは、国際分業による資源や生産、労働の最適化という観点から生まれた。しかし、それでは強い産業だけが残り、弱い産業は壊滅してしまうので、各国は関税や非関税障壁を設けて保護貿易策をとるようになった。1930年の世界大恐慌で各国が保護貿易に走った結果、

第二次世界大戦が勃発した。

1948年に米国主導のもと、自由貿易推進をめざしてGATT(関税と貿易に関する一般協定)が締結された。

その後、1995年に多国間での貿易ルールづくりや紛争解決をにやうWTO(世界貿易機関)が設立された。

2001年から始まったWTOの新ラウンド(ドーハ・ラウンド)が、世界経済危機の影響や先進国と発展途上国の利害対立で暗礁に乗り上げた。そのためにWTOを補完する地域間協定として、EUやNAFTA、ASEANなどがあり、二国間協定としてはFTA(自由貿易協定)やEPA(経済連携協定)が各国間で締結されている。

TPPもこのような流れから生まれた。

〔3〕自由貿易の枠組み

WTOによる国際的な自由貿易交渉が難航した結果、特定の国同士で貿易障壁をなくす動きが各国で進んでいる。その主なものが、FTAとEPAである。

1、FTA(Free Trade Agreement 自由貿易協定)

FTAとは、2か国以上の国や地域の間で、物品の関税やサービス、貿易の障壁などを撤廃あるいは削減する協定。

2、EPA(Economic Partnership Agreement 経済連携協定)

FTAを柱に、ヒト・モノ・カネ・サービスの移動の自由化・円滑化を図り、幅広い経済関係の強化を図る協定。

例えば、投資規制の撤廃、人的交流の拡大、知的財産制度、競争政策の調整など

3、日本のFTA締結状況

発行国:シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ブルネイ、フィリピン、ベトナム、メキシコ、チリ、スイス、

交渉国:韓国(2004年以来交渉中断)、湾岸諸国、インド、オーストラリア、ペルー、

〔4〕TPPとFTA/EPAの違い

1、FTA/EPAは例外品目が認められる

FTA/EPAはWTOを補完するものとして、WTOのルールにのっとって進められるので、10年以内に貿易総額の90%の関税を撤廃することになり、残りの10%は二国間の協議で例外扱いすることができる。

実際、日本は多くの場合農産物を除外している

2、TPPは原則として80%の関税を即時撤廃する

TPPは交渉締結時に貿易総額の80%の関税を即時撤廃し、残り20%を12年間で段階的に関税撤廃する。

「原則として」の部分が争点となっている



〔5〕 TPP の交渉 21 分野について

TPP の対象分野は関税の原則撤廃にとどまらず、貿易や投資、競争政策などの経済活動に関わる様々な分野に及んでいる。現在は 21 分野で交渉が行われている

1、TPP で交渉されている 21 分野

	分野	議論のテーマ
1	物品市場アクセス	農業、工業、繊維衣料品における関税の撤廃・削減方法
2	原産地規制	関税減免対象品の基準
3	貿易円滑化	貿易規制の透明性向上や手続きの簡素化
4	衛生植物検疫	動植物の病気予防ルール、輸入食品の安全基準
5	貿易の技術的障害	製品の安全や環境規格のルール作り
6	貿易救済	国内産業保護のための緊急措置（セーフガード）の発動条件
7	政府調達	中央・地方政府による公共事業発注に関するルール
8	知的財産	知的財産権の保護、海賊版の取り締まりなど
9	競争政策	カルテル防止、公共企業のあり方
10	越境サービス貿易	サービス分野の貿易ルール作り
11	商用関係者の移動	ビジネスパーソンの出入国手続き、滞在のルール
12	金融サービス	国境を越える金融サービス提供のルール
13	電気通信サービス	電気通信事業者に求められる義務のルール共通化
14	電子商取引	電子商取引のルール作り
15	投資	国内外の投資家を平等に扱うルールと紛争解決の手続き
16	環境	貿易や投資促進のための環境基準緩和の制限
17	労働	貿易や投資促進のための労働基準緩和の制限
18	制度的事項	協定の運用を協議する合同委員会の設置
19	紛争解決	締結国間の協定の解釈をめぐる紛争の解決手続き
20	協力	協定の実行が難しい新興国への人材・技術支援
21	分野横断的事項	複数分野にまたがる規制への対応

2、日本にとってのメリット・デメリット

メリット:一般的に国際競争力のある輸出産業

①高い国際競争力を持つ輸出産業(自動車、電子機器、機械)

②原料となる農産物を輸入に頼る(外食、加工食品産業、衣料品産業)

③貿易量の増加(商社、海運、空運、倉庫業)

デメリット:政府の手厚い保護を受けてきた産業(食品の安全基準引き下げ、外国人労働者の増加による国内雇用の悪化、医療制度改革など)

①農業

②医療

(5)大企業 対 中小企業

(6)未来志向 対 現状重視

実際には上記のような単純な対立軸で TPP 問題をとらえることはできない。色々なことが複雑になっており奥が深い。

4、TPP 交渉における幾つかの具体的なポイント

(1)最大の焦点は「物品市場アクセス」

これは関税の撤廃に関する方法を審議しており、政府は関税撤廃は日本からの輸出増加につながる一方、輸入増加による国内産業、とりわけ農業にたいする打撃を懸念している。

この問題は、日本の農業の存続や食料自給率にも関係しているので、農業関係者だけでなく、一般消費者の関心も高い。

☆「農業問題」に関する反対派と賛成派の主張

(反対派)

①「例外なき関税撤廃」によって、外国の安い農産物が大量に入ってきて、日本の農業は壊滅的な打撃を受ける

②TPP は日本の農業の衰退をもたらす、食料自給率(約40%)のさらなる低下につながる。これは食料安全保障上

3、複雑な TPP 議論の様々な対立軸

(1)輸出産業 対 農業・医療

(2)自由貿易 対 保護貿易

(3)親米 対 反米

(4)国際志向 対 国内志向

好ましくない

③日本の農業は改革が必要だが、国土条件から米国のような大規模化は困難

(賛成派)

①「例外なき関税撤廃」は実際には「例外」が認められる可能性が高い。しかも12年の猶予期間があるので、いきなりすべての関税がゼロのなるわけではない

②農産物が安く買えるのは消費者にメリットがある。食料自給率の維持は可能

③TPP 参加に関係なく日本の農業は改革が必要。しかし遅々として進んでいない。

TPP 参加はそのきっかけになる

(2)医療・社会保障問題

農業と並び反対派が多い。TPP 参加により、医療格差の拡大、サービスの低下、国民皆保険制度の崩壊などを危惧する声が多く、国民感情に訴えている

☆「医療問題」に関する反対派と賛成派の主張

(反対派)

①TPP に参加することで、日本の医療に米国のルール(例えば、株式会社の医療参入、保険のきかない混合診療の全面解禁)が適用される可能性がある

②その結果、高額な自由診療が増加したり、病院が営利に走って過度のコストダウンを図って医療の質を落としたり、儲からない診療科目を辞めたり、地域から撤退するなど、医療格差の拡大やサービスの低下が起こる可能性がある

(賛成派)

①混合診療の解禁や株式会社の医療参入、公的保険制度などは現時点では TPP の議論の対象でない

②公的医療制度は WTO や既存の FTA でも交渉の対象外であり、TPP でも対象外になる可能性は高い

(3)外国基準の導入を求められる分野

「衛生植物検疫」「貿易の技術的障害」「政府調達」などは、現行の日本の制度を外国基準に合わせる必要がでてくる。

たとえば、輸入食品の安全基準緩和や遺伝子組み換え食品の表示ルール緩和など、また、公共投資の外資への開放をさらにひろげると、地方のゼネコン関係者、ひいては地方経済の存亡に関わる。

☆「食の安全」に関する反対派と賛成派の主張

(反対派)

①米国より厳しい食料安全基準が「非関税障壁」とみなされる可能性がある。その結果、日本の基準を上回る残留農薬や添加物が入った食品、BSE リスクのある牛肉の輸入が増える

②遺伝子組み換え食品の表示義務が引き下げられる可

能性がある

(賛成派)

①現在議論されているのは、検疫措置の迅速化や透明性の向上である。牛肉の輸入規制、食品添加物や残留農薬の基準、遺伝子組み換え食品の表示ルールなどは議論されていない

②今後そのような議論が出てきても「食の安全」に関する制度の変更を他国から一方的に求められる可能性は低い

☆「公共工事・政府調達」に関する反対派と賛成派の主張

(反対派)

①公共工事の入札で小規模案件でも外国企業と国内企業を同じ条件で競わせなければならなくなる。その場合、特に地方の建設会社が打撃を受け、地方経済の低迷につながる可能性が強い。

②政府調達の基準額が引き下げられる可能性がある

(賛成派)

①日本ではすでに WTO の政府調達協定に基づき、国だけでなく都道府県や政令指定都市まで外国企業に開放している

②米国は50州のうち開放しているのは31州である。この分野で交渉になれば不利になるのは米国である。

(4)商用関係者の移動

これは、ビジネスパーソンが海外で活動する際に、入国・滞在のルールが緩和されるもの。政府はこれをメリットとしている。一方、逆に海外から労働者の来日が増加して日本人の雇用を悪化させることを懸念する声もある。

☆「商用関係者の移動」に関する反対派と賛成派の主張

(反対派)

①TPP 参加により、日本の厳しい労働基準が「非関税障壁」とみなされる可能性がある

②外国から単純労働者や有資格の専門家が日本に大量に来日し、日本人の雇用が奪われる恐れがある

③安い輸入品が増えるとデフレが進み、賃金の低下や失業率の増加につながる

(賛成派)

①単純労働者は含まれていない

②資格の相互認証は議論されていない

③デフレや賃金の低下、失業率の増加は TPP 以外の要因も作用する

[6]私の思い

1、参加国には経済規模に大きな隔りがある

全加盟国に占める GDP 比はアメリカ67%、日本24%と2か国で90%以上。これは、事実上日本とアメリカの貿易協定。

つまり、TPP はアメリカにとって国益にかなう都合の良い経済連携であり、日本にとっては、形を変えた「年次改革要望書」

※年次改革要望書とは、アメリカから毎年日本政府に渡されていたもので、日本とアメリカの経済発展のために必要な改善案を交換するというものだったが、実際はアメリカからの命令文であり、アメリカによる日本改造の様相を呈していた。その要望書に沿う形で政策を展開していけば、アメリカのバックアップが受けられ政権も安泰だった。(民主党の鳩山総理の時に廃止になったが、「日米経済調和対話」という形を変えて要望を日本に突き付けている。)

2、日本は国土が狭く島国だから農業の効率は低い。価格競争になったら不利であることは否めない。アメリカから関税を撤廃しろといわれたら？

3、日本政府は、食料安全保障上、米だけは自給自足を続け米作農家を減らしたくないと考えているので、米の関税率は778%と高く設定している。
又その他の農作物で高いのは、コンニャクイモ(1706%)、えんどう豆(1085%)、落花生(593%)、小豆(403%)で

あるが、日本の農作物の平均関税率は12%である。ちなみにアメリカは6%で低い、EUは20%、タイは35%でありずっと高い。

4、日本は国民皆保険制度を導入している、保険証さえあれば病院で診てもらえるが、アメリカは民間保険なので、自由診療の枠で民間の保険会社が儲かる仕組みを作れという話になるかもしれない

(結論) TPP 議論の本質は、日本の国益をどう守るか！だと思ふ

アメリカは日本が TPP に入ること、アメリカの国益第一主義に合致する。

日本の国益を守るためには、TPP に急いで入るのではなく、当面は FTA で各国と交渉し提携するほうが良いのではないだろうか！

TPP 参加9か国中

FTA で発行国は5国:シンガポール、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、チリ

FTA で交渉国は2国:オーストラリア、ペルー
残るは2国:アメリカ、ニュージーランドである。
以上

本日のメニュー

柚子塩風味びん長鮪たたき/サラダ仕立て
すずきの塩焼き・・・蓼酢ドレッシング
鯛の粗煮
豚肩ロース重ねカツ
ご飯
香の物
味噌汁
コーヒーゼリー



予定表

次週のプログラム



第 1285 回例会 / 2012 年 7 月 4 日

◆挨拶

「ボンジュール Bonjour」(フランス語)

◆ロータリーソング 「君が代」

「奉仕の理想」

◆卓話

「新年度挨拶」

片岡会長・松本(正)幹事

月	日	曜日	予定	時間他
6	27	水	第1284回 例会 「1年を振り返って」中川会長・村角幹事	13:30～被選理事会
7	4	水	第1285回 例会 「新年度挨拶」片岡会長・松本(正)幹事 18:30～第1回会員増強委員会 於 弁護士法人淀屋橋山上合同	13:30～定例理事会
	11	水	第1286回 例会 クラブアッセンブリー 地区協議会報告・新年度方針	各委員会委員長準備をお願いします。
	18	水	第1287回 例会 メンバー卓話 久富会員	13:30～ 絵画クラブレッスン

イラスト提供: <http://www42.tok2.com/home/mayflower/> 他